



大野城市
コミュニティ活動応援ファンド事業
令和5年度
実施報告会
報告書

日時：令和6年6月22日（土）14：00～16：00
会場：大野城市南コミュニティセンター 多目的室

パートナーシップ活動支援センター
（運営：NPO法人共働のまち大野城）

共催：大野城市

実施概要

- 名称 大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業令和5年度実施報告会
- 開催日時 令和6年6月22日（土）14：00～16：00
- 開催場所 南コミュニティセンター 多目的室
- まちづくり相談会 南コミュニティセンター多目的室にて報告会と同時開催

【第1部】

- ・ファンド事業の説明（動画による事業説明）
- ・団体による事業実施報告会

事業名（団体名）

- 宇宙の学校®～つなぐ、子どもの夢と未来を～（スペースドリーム大野城）
- 子育てで少し悩まれている保護者のサポート事業（おやのかいMIRAI）
- 安全なまち大野城（NPO法人route）
- 主婦友・ママ友サポート＆子育て応援事業（スマイルフレンズ）
- 傾聴活動（大野城傾聴ボランティア「ダンボ」）

【第2部】

- ・講演会 生声を聞いてみよう！

～高良山の竹林が繋いだ人の輪・地域を巻き込んだ竹林整備とメンマづくり～

講演者 高良山竹林環境研究所 BAMBOO OF KITCHEN 渡辺琢磨 氏

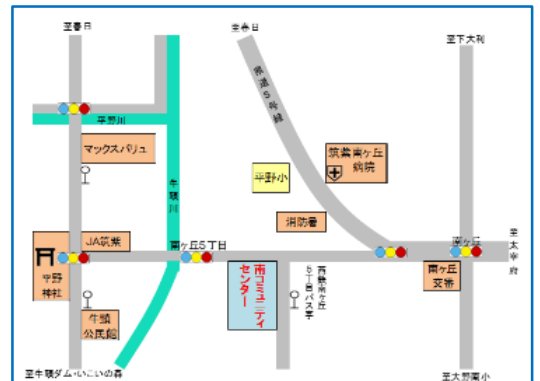
実施実績

➤ 来場者数 26名



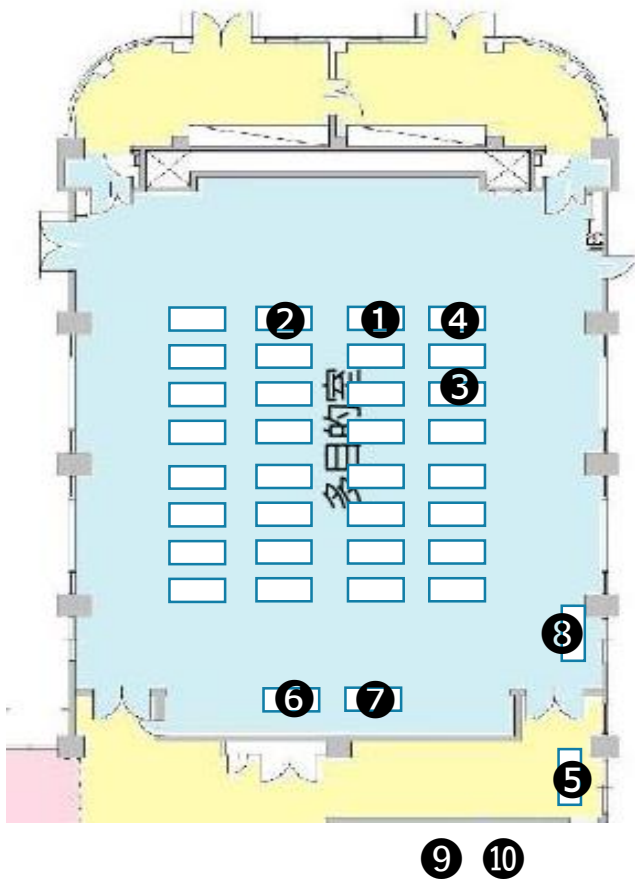
会場概要

- 会場名 大野城市南コミュニティセンター 多目的室
- 住所 大野城市南ヶ丘5-9-1
- アクセス 西鉄バス利用の場合
 - 西鉄下大利駅前バス停留所から21番月の浦営業所行きで「南ヶ丘5丁目停留所」下車徒歩1分
 - JR大野城駅西口バス停留所から20番月の浦営業所行きで「南ヶ丘5丁目停留所」下車徒歩1分



会場概要

➤会場レイアウト



- ①市長席
- ②理事長席
- ③報告発表団体席
- ④講演会ゲスト席
- ⑤受付
- ⑥相談会ブース
- ⑦団体チラシ掲示
- ⑧メンマ販売ブース
- ⑨団体紹介ポスター（ロビー）
- ⑩過去団体紹介ポスター（ロビー）



挨拶

開会挨拶

➤ 市長挨拶

大野城市

市長 井本 宗司 様



➤ 理事長挨拶

NPO法人共働のまち大野城

理事長 穴井 芳春



閉会挨拶

➤ 副理事長挨拶

NPO法人共働のまち大野城

副理事長 高山 やす子



第1部

ファンド事業の説明
団体による事業報告

ファンド事業の説明・団体による事業報告

➤事業の説明

動画による事業説明（3分43秒）を実施。

事業説明動画
二次元バーコード



② ファンド事業とは

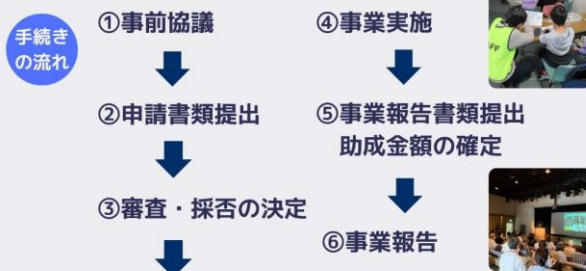
- 1 事業概要
- 2 助成金交付額
- 3 審査会と審査基準
- 4 申請から報告まで
- 5 助成事業例

③ 事業概要



大野城市内で「地域のためになる活動」「地域課題解決につながる活動」を主体的に実施する市民団体などの事業に対して、事業経費の一部を予算の範囲内で助成する制度です。

④ 申請から報告まで



⑤ 助成事業例①



地域住民や小中学生と協力し、公園の環境美化活動を実施。12月には公園内がイルミネーションで彩られるイベントを開催し、地域の憩いの場となっている。



ご相談は
パートナーシップ活動支援センターまで!!

1

事業名 宇宙の学校®～つなぐ、子どもの夢と未来を～
 団体名 スペースドリーム大野城
 申請年度 3年目
 助成額 200,000円

子どもたちに夢を持つことの大切さを伝え育むために、宇宙を題材にした教材を使い、大野城市内で親子参加型のスクーリングを開催している。
 また、担い手となる運営スタッフを募集・育成する指導者セミナーも随時開催している。

1 スペースドリーム大野城

2023年度活動報告
 (宇宙の学校®2023 in 大野城)

2024年06月22日
 スペースドリーム大野城

2 活動理念 (宇宙教育) 1/8

子ども連に軽率の夢は？と問いかけた
 目標を持っていない子どもが多数いる！

大きな夢を持たせたい！
 その夢を育てたい！

宇宙教育を利用しよう

1. 宇宙教育とは・・・
 宇宙を軸とした人づくりの教育を行うことのできる
 幅広い可能性を有する分野である

宇宙『を』教える
 ↓
 宇宙『で』教え育てる

スペースドリーム大野城

3 活動理念 (宇宙教育) 2/8

育てたい子ども像
 宇宙の子 科学の子 地球の子 → 夢

匠の心
 ホンモノ体験 命 宇宙に関わる豊かで多様な題材
 好奇心
 子どもの心に学びのひをつける！

スペースドリーム大野城

4 2023年度_活動報告 3/8

年間通しての活動

スクーリング スクーリング スクーリング
 +
 家庭学習

2023年10月 開校式・第1回目
 2023年12月 第2回目
 2024年02月 第3回目・発表会
 閉校式

3回のスクーリングと家庭学習
 家庭学習で実施した内容は、宇宙の学校の中で発表会を実施

スペースドリーム大野城

5 2023年度_活動報告 4/8

心のふるさと館をメイン会場とし、開催場所を増設

今年、参加者は、心のふるさと館 9組 18名

【増設会場】定員割れにより開催中止

開催報告名	『宇宙の学校』開催報告
開催日時	2024/2/4 (水) 14:00～16:00 (最大定員14名)
場所	大野城市 心のふるさと館 講義学習室
実施プログラム	第3回スクーリング、無料体験つなぐ
講師・司会	1. 高島孝次(つなぐ)
講師	高島、高木(スペースドリーム大野城)

スペースドリーム大野城

6 2023年度活動の様子 5/8

スペースドリーム大野城

7 過去の活動の様子 6/8

スペースドリーム大野城

8

SDO
 ～つなぐ、子どもの夢と未来を！～

ご清聴、有難う御座いました。

2

事業名 子育てで少し悩まれている保護者のサポート事業
団体名 およのかいMIRAI
申請年度 2年目
助成額 200,000円

発達障害を持った子ども及び不登校児やその保護者の方に対して、SST教育やペアレントトレーニングなどを行っている。また、悩み相談や情報共有できる場を提供することで、孤独感をなくし悩みを軽減することを目的に活動している。

1

令和5年度
ファンド事業
活動報告

およのかいMIRAI



////

2



講演会

就労移行支援
・就労継続支援
A型事業所
ライフソリューション春日
所長 権藤氏

・就労継続支援A型・
B型、就労移行支援の
違い
・計画相談支援
・障がい者手帳がなく
ても利用できる

7月

3



バーベキュー
交流会



8月

4



夏休み
学習サポート

不登校気味の
高校生男子1名
中学生女子1名
参加

最後の日は、軽食
を作ってお楽しみ
会をして終わりました。

8月

5



スクールサポート
ゆっくり (SST教室)

不登校になっている
中学生男子と
22歳の先輩と
ガンダム談義を
するはずでした…



11月

6



新年交流会
子どもカフェ



令和6年
1月

7



子どもの居場所
クローバー代表
藤田氏

////

講演会



2月

8




福祉フェスティバル

////

3月




9

みらいカフェ 6回
 スクールサポートゆっくり 6回
 夏休み学習サポート 6回
 親子交流会 2回
 講演会 2回
 行事参加 1回
 すまいるFLOWER 8回

今後、子育てで
 悩む保護者に広
 く知ってもらえ
 るように活動を
 続けていきます。

////

一年間充実した
 活動ができました。
 ありがとうございました。



令和6年6月

おやのかいMIRAI



3

事業名 安全なまち大野城
 団体名 NPO法人route
 申請年度 2年目
 助成額 250,000円

地域の交通安全について、地域団体と連携し、啓発活動や見守り活動を行っている。啓発活動や見守り活動を通して安全対策について関心を集めることで、事故のない子どもたちが安心して歩けるまちづくりを目的としている。

1

令和5年度

安全なまち大野城

NPO法人route



2

私達が取り組む課題

「通学路の危険」

登下校時に児童が事故に巻き込まれるニュースが日々後を絶ちません。当団体も同様に通学路で起きた事故をきっかけに設立しました。



3

見守り活動



参加者の高齢化 ボランティア不足

背景には共働き世帯の増加も原因の1つに



4

通学路戦士 パトローラ

NPO法人route



5



関心を集める

6

2023/11/1 FBSめんたいワイド	4/8 Yahoo!ニュース	
11/21 ケーブルテレビ	KBC KBS FBS ケーブルテレビ	
12/11 Yahoo!ニュース	4/12 NHK福岡のけいし	
12/11 毎日新聞デジタル	4/24 朝日本新聞	
12/13 毎日新聞公式LINEアップ	FBS福岡キャッチ	
12/19 毎日新聞	5/10 東京FM	
24/2/12 市報	5/16 読心 NHK福岡	
録音情報 / 2		

7



ミニドラマ 「通学路戦士パトローラ誕生！」



8

ご清聴ありがとうございました！



4

事業名 主婦友・ママ友サポート&子育て応援事業
 団体名 スマイルフレンズ
 申請年度 2年目
 助成額 135,000円

毎回ひとつのテーマに沿った子育てサロンを開催することで、主婦友・ママ友作りをサポートするとともに子育て情報なども提供している。
 LINE公式アカウントにて、参加者やボランティアスタッフの募集を行っている。

1

スマイルフレンズ

～ 主婦友・ママ友サポート&子育て応援事業 ～

2022年4月に発足したサロン
 なかなか地域になじめない、知り合いがない、
 気軽に話せる人がいない…
 そんな主婦やママの助けになればという思いから始まった
 主婦・ママが主役のサロンです

社会福祉協議会 ボランティア団体
 開催場所: 主に社会福祉協議会2階多目的室

2

活動のきっかけと目的

- きっかけ
 子どもを中心とした子育てサロンなどの地域活動はあるけれど、主婦やママが地域に関わり、知り合いを作るサロンがなかなかない
 子育て中のママが自分時間を作り、リフレッシュできる場所を作りたい
- 目的
 毎回ひとつのテーマに沿って主婦友・ママ友作りをサポートし、子育て情報なども提供
 ひとつのテーマを掲げることで共通の話題ができ、話しやすい環境を作る
 主婦・ママの孤立化を防ぎ、同じ悩みを共有する

3

こんなサロンでありたい

みなさんと・・・

- おしゃべりしながらリフレッシュできる場所
- 一緒に共有したり相談したりしながら情報交換する場所
- 同じ悩みをもった者同士で共感し不安を解消する場所
- このサロンでの出会いによって人とつながり視野が広がる場所

テーマについて・・・

どなたでも気軽に参加できるものや子育てサロンに近いもの、共通の悩みに対して特化したものまで毎回さまざまなテーマを設けています
 テーマによっては託児付きでの開催もあります

また他ボランティア団体や各事業者様などのコラボ企画も実施し、WinWinの関係にもなれたらと思っています

4

新たな取り組み(2年目以降)

託児付きサロン
 未就学児の子育て中のママには、少しでも自分時間を作って頂くために託児付のサロンを実施しました

土曜日開催
 基本的に平日の午前中に開催していますが、平日は仕事で参加できない方を対象にしたテーマにも挑戦してみました

他ボランティア団体・事業者様とのコラボ
 他ボランティア団体や事業者様と繋がることでお互いの宣伝効果や知らなかった情報などを共有できる機会も作っています

- ぼこたのお茶会 (2023年4月)
 お子様の発達に不安のある親御さんを対象に、不定期にお茶会を開催されている代表の方を迎え、これから育つお子様の不安や悩みを共有・共感する場として実施
 普段言えないことなどを吐き出せる場となり、その後は「ぼこたのお茶会」へ参加されている方もおられます
- 防災ほっとキッチン (2023年9月)
 「防災食を学ぼう」というテーマで初めて中央コミュニティセンターにて調理室を使用して実施
 出前講座や不定期に各コミュニティセンターでも開催されていて、市のイベントにも参加されているボランティア団体
 託児付にしたのでゆっくりと学ぶことができ、私たちも勉強になりました

5

活動内容(2023年度)

日時	テーマ
2023年2月15日(水)	ひとりっ子・きょうだいの子育て
2023年3月15日(水)	進級(入園・入学)の悩み
2023年4月24日(月)	コラボ企画:子どもの発達への不安 with ぼこたのお茶会
2023年5月10日(水)	転勤族主婦・ママ
2023年6月28日(水)	アロマとプチヨガでリフレッシュ(第2弾)
2023年7月19日(水)	一足早い夏祭り
2023年9月20日(水)	コラボ企画:防災食を作ってみよう with 防災ほっとキッチン
2023年10月28日(土)	共働き主婦・ママ
2023年11月8日(水)	アロマとプチヨガでリフレッシュ(第3弾)
2023年12月6日(水)	一足早いクリスマスパーティ
2024年2月7日(水)	マタニティママさんあつまれ～
2024年3月6日(水)	入園・入学(進級)の悩み

6

2024年度の活動スケジュール

- 4月
 「自分でできる顔のリンパマッサージ」 コラボ企画第3弾
 リンパの流れについてのプチ講座と自分でできるリンパマッサージ方法を教わります
- 5月・10月
 「アロマとプチヨガでリフレッシュ」 毎年大好評のテーマ
 前回参加できなかった人も一度参加された方もリフレッシュしに来てください
- 6月
 「他府県から引っ越してきたまたは転勤族主婦・ママ」 知り合いを作るきっかけに
 地元でないでなかなか地域になじめないなど、転勤族ならではの悩みを共有しましょう
- 7月・12月
 「夏祭り」「クリスマス会」 親子で楽しめるイベント
 手がた・足がたアートやフォト撮影などお子様と一緒に楽しめる催しを企画しています
- 8月
 「子どものマネースクール」 夏休み特別コラボ企画
 お金のことを理解し始める年齢のお子様を対象にし、親子でお小遣いについて学ぶセミナー
 また思案中ですので、お楽しみに!
- 9月
 「第4回コラボ企画」 他のボランティア団体さまと組んでテーマを決めます
 また思案中ですので、お楽しみに!
- 11月
 「アフター出産ママあつまれ～」 同じ悩みをもつママ同士のつながりに
 いまは人生経験やキャリアを積んでから出産するからキャリア出産という言い方もいいのでは…
 40歳前後で第1子を出産された方たちで不安や悩みも話しつつ楽しくある話でも盛り上がりましょう

7

ボランティアスタッフ募集中です。
 ご興味のある方はぜひ一度遊びに来て下さい。

クリスマスパーティ
 ご参加ありがとうございました!

5

事業名 傾聴活動
団体名 大野城傾聴ボランティア「ダンボ」
申請年度 1年目
助成額 150,000円

傾聴を通して心のつながりを深め広く地域に絆をつくること、ボランティアメンバーが楽しみながら交流やスキルアップに取り組み、自己の成長を目指すことを目的に活動している。

1

令和5年度実施報告

傾聴活動

大野城傾聴ボランティア「ダンボ」



2

傾聴の輪を広げることにより、心のつながりを深め広く地域に絆を作ること。
ボランティア会員が、喜び、楽しみながら交流、スキルアップを目指し自己の成長を目指していく。

事業期間：2023.4～2024.3
総事業費：185,000円
助成確定額：150,000円



3

事業目的



- ・傾聴できるボランティアを養成し、社会福祉協議会や市内の介護事業所のケアマネージャーさんとの連携により、幅広く活動する。
- ・老若男女、年齢、性別にかかわらず、必要性が生じれば、どなたにも傾聴活動をする。
- ・スキルアップすることにより、傾聴活動を通して、癒しや安心感を与えることを目的とする。

4

活動内容

- ・定例会：毎月第1火曜日13:30～15:00 福祉センター
- ・傾聴活動：デイサービスセンター、老人ホーム、個人宅など
- ・傾聴ボランティア養成講座の開催
- ・会員の研修会
- ・他団体との交流/情報交換
- ・イベントでのPR活動（福祉まつり/ボランティアの集い）
- ・チラシ掲示依頼（公民館/コミュニティセンター/市役所など）

5

活動の様子



6

事業目標

- ・ボランティアの人数増加
- ・訪問回数増加（施設/個人宅/その他）

事業効果

- ・傾聴ボランティアを通して、孤独、孤立化を防ぎ、悩みや不安などを少しでも減らすこと
- ・日常生活においても、安心して元気に過ごすことができる



7

今後の展望

- ・会員のスキルアップ（研修会/他団体との交流/情報交換）
- ・会員増加促進（広報誌や社協日よりなどで、傾聴ボランティアの募集を行う）
- ・SNSを活用した情報発信



8

Thank you



団体による事業報告会

➤ 報告会の様子



第2部

講演会

テーマ

生の声を聞いてみよう！

～高良山の竹林が繋いだ人の輪・地域を
巻き込んだ竹林整備とメンマづくり～

講演者

高良山竹林環境研究所

BAMBOO OF KITCHEN

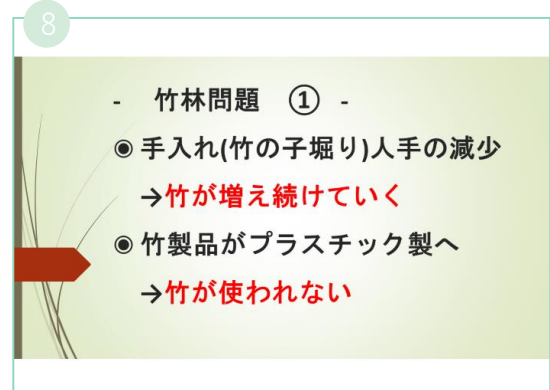
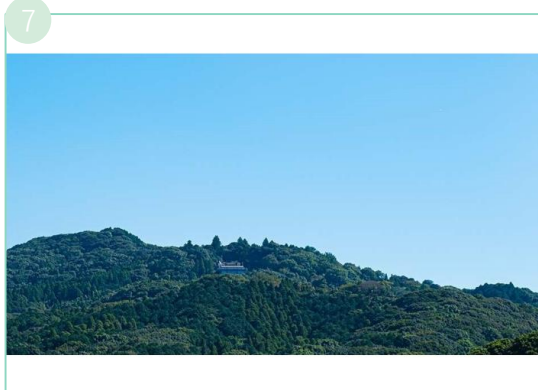
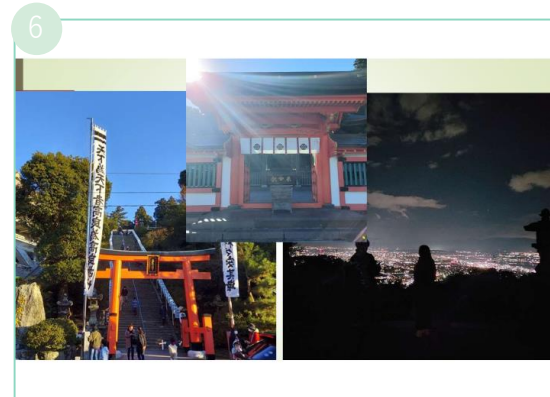
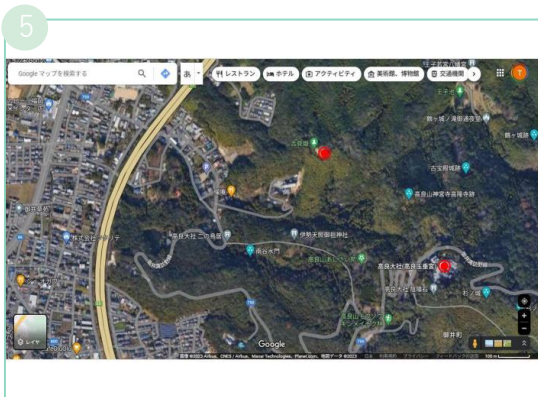
渡辺琢磨 氏

久留米市にある高良山を次世代へ繋ぐため、
地域の方々と協力しながら竹林整備活動を
進めている。

また、不要なものとされていた伸びた竹の
子で純国産の「くるめ高良山メンマ」作り
にも取り組んでいる。これらの活動が地域
の里山保全、地産地消、地域連携等さまざ
まな好循環を生んでいる。



生の声を聞いてみよう！
 ～高良山の竹林が繋いだ人の輪・地域を巻き込んだ竹林整備とメンマづくり～
 高良山竹林環境研究所 BAMBOO OF KITCHEN 渡辺琢磨 氏



生の声を聞いてみよう！
 ～高良山の竹林が繋いだ人の輪・地域を巻き込んだ竹林整備とメンマづくり～
 高良山竹林環境研究所 BAMBOO OF KITCHEN 渡辺琢磨 氏

9

- 竹林問題 ② -

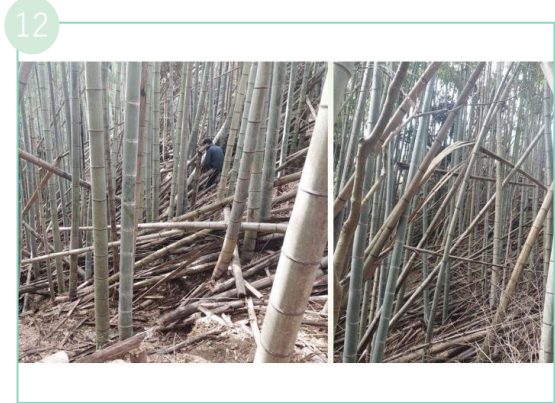
- ◎ 強い繁殖力で広がる
→ 周辺の木々を枯らす
- ◎ 浅い地下茎（根っこ）
→ 土砂災害を引き起こす



11

■ 竹林整備 ■

- ① 枯れて倒れた竹を排除
- ② 青竹の間引き
- ③ 不要な青竹を増やさない



14

掘りそこなった竹の子は、これ以上不要な青竹を増やさない為、折ったりして破棄されていた。それを「純国産メンマ」として活用。地域の新たな特産物として製造、販売を試みる

15

16

2022年 3日間のみ 200kg
 2023年 どれだけやれるかやれるだけ1,000kg
 2024年 2倍3倍と突き進むよりできる範囲内で40本×10日→800kgを目安に

	本数	1日平均	kg	元部	中部	穂先部
2022	100	33	192	144	30	18
2023	500	54	1009	730	190	89
2024	294	50	587	431	96	57

生の声を聞いてみよう！ ～高良山の竹林が繋いだ人の輪・地域を巻き込んだ竹林整備とメンマづくり～

高良山竹林環境研究所 BAMBOO OF KITCHEN 渡辺琢磨 氏



17

2024	4月19日	21	24	26	29	5月1日	3	5	8	10
本数	38	63	61	55		45		32		
g	92.7	131.4	146.7	100		89.8		36.5		




2024年は2023年と同日程で作業予定
→ 4月中旬、暖かくなり雨が集中
→ 竹の子の出初めに一気に伸びた
→ その後出てきていた竹の子は
暖かい気温によりほぼほぼ腐っていた


18


「里山保全」
高良山の荒れた竹林を整備し、
きれいな里山として次世代に繋いでいく

「地域連携」
活動を地域の方々(ボランティア団体や大学)と
連携し、子供たちにも伝えていく

「地産地消」
地域資源を活用
伸びた竹の子、枯れた竹など破棄されたり
不要なものを活用していく→メンマ、竹炭



19




【今後の予定】

- ・ふるさと納税登録
- ・ネット通販
- ・竹林整備(11月～2月)

- ・6/5、8、16 バレーボールネーションズ出店(北九州)
- ・6/8 あじさい祭り出店(高良山 旧宮司邸)
- ・7/6 メンマで餃子づくり(御井コミセン)
- ・7/28 御井町っ祭出店
- ・8月 竹の子の皮で染め物体験
- ・1月 竹炭づくり

耳納でフェス 久留米大あの大祭 紅葉狩り祭り





20

- 高良山竹林環境研究所 (メンマ販売、講演会等)
- 不動産仲介
- C-class(インテリアコーディネート)

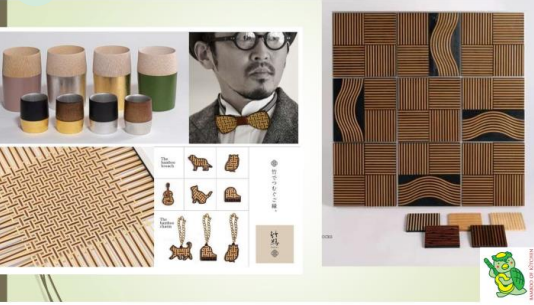

- ・高良山緑と史跡を守る会
- ・高良山森と環境を守る会
- ・高良山奉賛青年会

- ・御井校区矢取東自治会会計
- ・御井校区まちづくり振興会
- ・御井町っ祭実行委員会
- ・御井小父親委員会←有志

● 西日本俳優協会 and more

21

22



23




【検索】久留米メンマ 高良山
(インテリアコーディネート)

今年度は久留米市高良山の竹林問題に取り組む“高良山竹林環境研究所”から、代表の渡辺琢磨氏による講演会を実施した。

“高良山竹林環境研究所”は、歴史ある高良山を次世代へ繋ぐため地域の方々と協力しながら竹林整備活動を行っており、今回は活動を通じた人集め・資金集めなどについてお話を伺った。

人集めの取組として、地域の学校やボランティア団体との連携・メンマ作り体験といったユニークな活動やSNSを活用した広報など、幅広い世代に向けて魅力ある活動をPRしている様子をお話しいただいた。

資金集めでは、クラウドファンディングに挑戦し目標金額を達成している。また、これまで破棄されてきた不要な竹を活用した「メンマ」作りなど、竹について学ぶ姿勢・アイデア・行動力は、報告団体や来場者にとっても非常に参考になる内容だった。

当日は会場内に販売ブースを設け、メンマ販売を実施した。報告会閉会后、来場者がブースに足を運び、列を作っている様子が印象的だった。

➤ 講演会の様子



制作物（チラシ・ポスター・アンケート）

➤ 講演会チラシ・ポスター

地域のためになる活動
地域課題解決について

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
令和5年度

実施報告会 入場無料

6.22 SAT 14:00-16:00

会場：大野城市南コミュニティセンター 多目的室
〒816-0964 福岡県大野城市南ケ丘5-9-1

第1部
＜ファンド事業説明と団体による事業報告＞
事業名（報告団体名）
子育て学習会「つなぐ」子どもと未来をー
食の力でつなぐ未来をー
子育てで少し困っている保護者のサポート事業
食の力でつなぐ未来をー
安全なまち大野城
団体の主な事業
主婦会、ママサポートも子育て応援事業
（スマイルフランス）
種別活動
（大野城探検ボランティア「タンポポ」）

第2部
＜講演会＞講演者：高尾山竹林環境研究所 遊辺理雄氏
生の声を聞いてみよう！ー高尾山の竹林が抱えている課題、地域を豊かにする自然環境のシンポジウムー
高尾山にある苗木を次世代へ
贈るため、種々の育ちと楽しみを
得る自然環境を教育活動としていま
す。また、不要なものも再利用
（タンポポ）づくりにも取り組んでい
ます。これらの活動が地域の風土
形成、地域活性化、自然環境を守る
に大きな貢献をえています。

BARBOD OUR KITCHEN
食の力でつなぐ未来をー
食の力でつなぐ未来をー

お問い合わせ：大野城市パートナーシップ活動支援センター
（大野シティセンター） 092-558-0580 / 092-558-1428 / 092-578-2127 / 092-513-0097

➤ まちづくり相談会横断幕

まちづくり相談会

悩みを抱えた“まちのリーダーさん”
この機会にご相談ください！

任意団体と
NPO法人との
違いって？

資金や
広報活動って
どうしてる？

ボランティア
増やしたいな

今更ですが、
まだふるバス
について

相談員：パートナーシップ活動支援センター

➤ アンケート

106622

コミュニティ活動応援ファンド事業 令和5年度実施報告会 アンケート

本日はコミュニティ活動応援ファンド事業実施報告会にご参加いただき誠にありがとうございます。
今後の事業として、意見、感想をお聞かせください。
※お答えは匿名です。アンケートを2分程度お読みください。

◆お名前 氏名 法人/団体の名称 その他 性別 男性 女性 その他 その他

◆お住所 市区町村 区 町 丁目 番 号 丁目 番 号 丁目 番 号

1. 本日の報告会について

◆報告会の参加について

参加した 参加しなかった

◆参加された場合の理由をお聞かせください

1. コミュニティセンター案内 8F/10F コミュニティ活動 市民館 加圧機 その他 ()

◆報告会の主要な印象(感想)について

良い やや良かった どちらでもない 良くない 良くない理由:

2. コミュニティ活動応援ファンド事業について

◆コミュニティ活動応援ファンド事業の印象について

知っていた 知らなかった

◆コミュニティ活動応援ファンド事業の活動(活動)についてお聞きください

活動を知りました どちらでもない 活動(活動)を知りませんでした理由:

3. トークイベント「生の声を聞いてみよう！ー高尾山の竹林が抱えている課題ー」
「地産地消による自然環境のシンポジウム」高尾山竹林環境研究所について

◆イベントの印象について

良かった 良かった どちらでもない 良くない 良くない理由:

◆イベントについてお聞きください

質問の項目は記載の感想を参考に記入をお願いします。

106622

コミュニティ活動応援ファンド事業 令和5年度実施報告会 アンケート

本日はコミュニティ活動応援ファンド事業実施報告会にご参加いただき誠にありがとうございます。
今後の事業として、意見、感想をお聞かせください。
※お答えは匿名です。アンケートを2分程度お読みください。

◆お名前 氏名 法人/団体の名称 その他 性別 男性 女性 その他 その他

◆お住所 市区町村 区 町 丁目 番 号 丁目 番 号 丁目 番 号

1. 本日の報告会について

◆報告会の参加について

参加した 参加しなかった

◆参加された場合の理由をお聞かせください

1. コミュニティセンター案内 8F/10F コミュニティ活動 市民館 加圧機 その他 ()

◆報告会の主要な印象(感想)について

良い やや良かった どちらでもない 良くない 良くない理由:

2. コミュニティ活動応援ファンド事業について

◆コミュニティ活動応援ファンド事業の印象について

知っていた 知らなかった

◆コミュニティ活動応援ファンド事業の活動(活動)についてお聞きください

活動を知りました どちらでもない 活動(活動)を知りませんでした理由:

3. トークイベント「生の声を聞いてみよう！ー高尾山の竹林が抱えている課題ー」
「地産地消による自然環境のシンポジウム」高尾山竹林環境研究所について

◆イベントの印象について

良かった 良かった どちらでもない 良くない 良くない理由:

◆イベントについてお聞きください

質問の項目は記載の感想を参考に記入をお願いします。

ご意見ありがとうございました。本アンケートは、お困りのアンケートに提出してください。

制作物（団体紹介ポスター）

➤令和5年度実施事業



活動のきっかけ

最近の子どもたちは、大きな夢を語らない・表明しない子が多く、小学生の時に夢や希望を抱いていたとしても、成長とともに薄れていっているように感じた。大野城市の宝である子どもや若者に夢を持つことの大切さや素晴らしい夢を知って欲しいという思いで、当時活動していた小学校のおやじ会のメンバーで立ち上げたのが、

事業名
**宇宙の学校®
くつなぐ子どもたちの夢と未来を**

「スペースドリーム大野城」は、活動を通して子どもたちの心にひそむ好奇心・匠の心などの成長を育むことを目的としている。

活動内容

★スクーリング「宇宙の学校®」年に3回、心のふるさと館やコミュニティセンターにて、宇宙を題材にした教材を使い、工作や実験など家庭ではできない体験ができるプロジェクトとなっている。

★指導者セミナー
団体を一緒に活動してくれる人材を募集するなど、担い手の発掘や人材育成を行っている。

団体名
スペースドリーム大野城

子どもに秘めた「好奇心」「匠の心」「冒険心」に火をつけたい！きっかけをつくり、夢への懸け橋となる存在でありたいと思っています。今年度もスクーリングを開催する予定ですので、ぜひご参加ください。活動情報はフェイスブックをご確認ください。






活動のきっかけ

子どもが発達障がいを持っており、育児の悩みを安心して相談できる場の必要性を感じたことから、発達障がいの子どもを持つ親同士が気持ちを理解し合える仲間と悩みを共有できたり、親として子どもへの対応の仕方を学べたりする場をつくりました。子ども自身の苦手を克服できるようなサポートを行い、

事業名
子育てで少し悩まれている保護者のサポート支援事業

子どもたちが地域で安心して遊べるような支援をしています。

活動内容

★みらいカフェ
発達障がいをもつ子どもの親が集まり、発達障がいの勉強をしたり、意見・情報交換をしたり悩みを共有しています。

★スクールサポートゆつくり
集団でのルールや人間関係づくりを一対一で学習します。小集団で学ぶ事もあります。

★ずまいるFLOWER
不登校の親子の集まりです。

★夏休み学習サポート
★親子交流会（夏・冬）
★講演会
子育てに悩まれている市民の方々に向けた講演会を開催

団体名
おやのかいMIRAI

子育てに悩んでいる方、悩みを共有し、子育てスキルアップのためにMIRAIカフェに来てみませんか？ボランティアでお手伝いして下さる方も募集しています。






活動のきっかけ

無免許運転による交通事故により親族が亡くなったことがきっかけで、交通安全の啓発活動の取組みを始めました。活動によって、大野城市が安心安全な街になることを目指しています。

事業名
安全なまち大野城

中央地区を中心に、通学路の危険箇所の見守りを行っています。また、区や地域団体・企業と連携しながら、安全啓発イベントの実施や地域イベントへの参加、講演会などを実施しています。団体の活動を周知し活動の輪を広げることも、地域住民の安全に対する意識の向上を図ります。

活動内容

中央地区を中心に、通学路の危険箇所の見守りを行っています。また、区や地域団体・企業と連携しながら、安全啓発イベントの実施や地域イベントへの参加、講演会などを実施しています。団体の活動を周知し活動の輪を広げることも、地域住民の安全に対する意識の向上を図ります。

団体名
NPO法人 route

私たちは、大野城市で通学路の安全のために日々活動しています。子どもたちが安心して歩ける街づくりと一緒に取り組んでくださる方を募集中です！





活動のきっかけ

核家族化やひとり親世帯の増加など、子育てにおいて困難を抱える家庭が増えている。自身も引越してきたときに子育てサロンがあったがなかなかグループに溶け込むのが難しい状況であった。高齢出産しており、若い世代のママばかりで高齢であるが故の悩みなどを相談できる友達が作れず、場所がなかった。自分が子育てなどで悩んでいたことや経験を活かし、同じ思いのきっかけにもなる。

事業名
主婦友・ママ友サポート&子育て応援事業

いをされる方々のために役立たいの思いから団体を立ち上げた。

活動内容

★サロンイベント
毎月1つのテーマを掲げたイベントを開催し、親子や子育てを楽しくする場を提供する。テーマを絞ること共通の話題ができ、参加しやすく友達づくりのきっかけにもなる。

令和4年度開催したテーマ
★ニューフェイス主婦・ママ
県外・市外から引っ越してきたママ
★新米アラフォーママ
★初めの出産が40歳前後のママ
★絵本大好き親子
年齢別に沿ったおすすめ絵本の紹介など

団体名
スマイルフレンズ

なかなか地域になじめない。知り合いがない。気軽に話せる友達がない…そんな主婦・ママの助けになれたらという思いから始まった主婦・ママが主役のサロンです。まだまだ不慣れですが、参加する皆さんと一緒にさっさと不安をお話しながらアットホームなサロンにしていけたらと思っています。



制作物（団体紹介ポスター）

➤令和6年度新規実施事業



事業名
傾聴活動

活動のきっかけ
大野城市社会福祉協議会で平成25年に開催された傾聴ボランティア養成講座終了後に立ち上げたボランティアグループです。

傾聴を通して、悩みや不安を抱えた方の気持ちに寄り添うことと、孤独・孤立の防止や社会活動への参加につなげる活動を行っています。

★傾聴活動
ケアマネージャーからの依頼による個人宅・デイサービス施設などでの傾聴活動を行っています。

★傾聴ボランティア養成講座
傾聴を普及するため、新規の方に向けた基礎的な講座や、スキルアップの養成講座を社会福祉協議会にて開催しています。

団体名
大野城傾聴ボランティア「ダンボ」

傾聴は、老若男女問わずお話をしたい方であればどなたでも利用することができます。お話相手が必要としている方、ぜひ「ダンボ」にお話してみませんか？





事業名
地域猫活動

活動のきっかけ
令和3年に設立した地域猫活動団体です。現在、雑餉隈町では野良猫の数が非常に多く、糞尿被害の苦情が絶えない状況です。そこで、野良猫を捕獲し、避妊去勢手術と定期的な給餌な

どの地域猫活動を行うことで、野良猫の数を減らし、糞尿被害の苦情を減らすとともに、不幸な猫を減らして住みよい町にしていきたいです。

★TNR活動とは…
TNR活動に加えて、餌やりや清掃などのルールを決めて管理し、不幸な猫を減らします。

★TNR活動とは…
トラップ…保護する
ニーター…避妊手術する
リターン…元の場所に戻すの頭文字です。

団体名
雑餉隈町地域猫の会

今後も継続的に活動を行い、たくさんの方を助けていきたいと思えます。猫の避妊去勢手術は1年ではとてもやりきれないため、2年目・3年目と継続する必要があります。活動の成果や報告を行い、さらなる活動への理解の促進に努めていきます。



➤過去助成団体ポスター

今回は過去に助成を受けた団体の紹介ポスターを新たに作成し会場ロビーに展示した。

2020
～
2022
助成事業

市内で遺棄・虐待を受けたねこを保護し、病院で検査・治療をしたあと、SNSを活用し里親の元へ送り出す。また、地域の環境保全のため清掃活動も行っている。

事業名
**心をひとつに
きれいな街づくり**

団体名：ONONOにゃっとわーく



2019
～
2021
助成事業

野良猫を地域で適正に管理し、人も猫も安心して生活できる、命にやさしい地域・より住みやすい地域にすることを目指す。

事業名
**人とねこが住みやすい
街づくり**

団体名：栄町 人とねこの幸せの会



2017
～
2018
助成事業

周辺地域の活性化やにぎわい創出事業および地域住民の交流事業に取り組む。また、周辺地域の清掃活動や夜間パトロールなどに取り組み、子どもたちも含め安全で安心して暮らせるまちづくりを行う。

事業名
**リンクタウン
「しもおおり」**

団体名：下大利西口まちづくり協議会



2016
～
2018
助成事業

さまざまな地域課題を解決するには、まず住民同士の絆づくりが必要だという思いから、地域住民の交流の場を創出することを目的とした事業。定期的に「わくわくカフェ」というサロンを開設・実施し地域住民の交流を促進している。

事業名
**地域コミュニティ
カフェ事業**

団体名：わくわくカフェプロジェクト

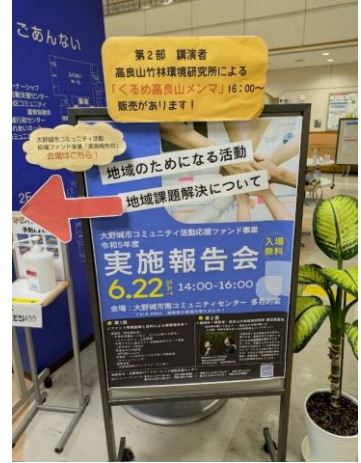


広報

チラシ掲示箇所

- ・コミュニティセンター
- ・大野城市内各公民館
- ・大野城まどかぴあ
- ・大野城心のふるさと館
(紙面・Web掲載など)
- ・大野城市市報
- ・コミュニティ通信
- ・西日本新聞me 福岡イベント情報
- ・パートナーシップ活動支援センター
(HP/Instagram/Facebook/LINE)
- ・その他 市民団体など関係機関

【館内掲示】



【LINE】



【西日本新聞me】



【HP】



【Instagram】



アンケート結果

➤アンケート回答者 22名（市内20名/市外2名）

Q1. 報告会の参加（回数）について

項目	回答	割合
はじめて	7	32%
2回目	9	41%
3回目以上	6	27%

Q2. 報告会をどのようにして知りましたか？（複数回答あり）

項目	回答	令和5年度	令和4年度
コミュニティセンター館内	7	32% (+16%)	16%
HP・SNS	9	41% (+37%)	4%
コミュニティ通信	6	27% (+17%)	9%
市広報	0	0% (-16%)	16%
知人紹介	4	18%	
※その他	8	36% (+1%)	35%
未回答	2	9% (±0)	9%

※その他：ファンド担当者・社会福祉協議会より案内をもらった

アンケート結果

Q3. 報告会の全体的な内容について

項目	回答	令和5年度	令和4年度
良かった	18	82% (+9%)	73%
やや良かった	0	0% (-16%)	16%
どちらでもない	0	0% (-4%)	4%
良くなかった	0	0% (± 0)	0%
未回答	4	18% (+11%)	7%

【アンケート意見】

- ・資料が手元にあったため、メモを取りながら聞くことができた。
- ・色々な事業が大野城市の安心、学び、きずなづくりに貢献されていることが分かった。
- ・報告会のみでなく、他地域の活動も聞くことができよかった。
- ・資金のサポートは大切な支援だと思う。
- ・活動内容を知る機会になった。
- ・手元資料の数字や図がつぶれて見にくい、もっと大きく印刷してほしい。
- ・進行がとてもスムーズで、事業の説明も分かりやすかった。
- ・みなさんの熱意ある取組がよく分かり、とても頼もしく感じた。

雨天の影響もあり、昨年度と比べ来場者数が減少したため、アンケートの回答者数も約半数に減少した。今回新たに追加したQ1の質問において「はじめて」の回答が3割以上あったことに加え、Q2の質問では「HP・SNS」の回答割合が大幅に増えており、主にInstagramなどSNSを活用した広報を行ったことで、新しい層にファンド事業や団体の活動を知ってもらう良いきっかけとなった。

報告会の内容については、8割以上の方から「良かった」の回答があり、昨年度から10%割合が増え、多くの方に満足いただくことができた。

来年度はより多くの方に参加していただけるよう、既存ツールでの広報に加え、報告団体を紹介しながら報告会までカウントダウン形式でPRを行うなど、SNSならではの工夫を凝らしたPRなども取り入れていきたい。

アンケート結果

Q4. コミュニティ活動応援ファンド事業について

項目	回答	令和5年度	令和4年度
知っていた	20	90% (+12%)	78%
知らなかった	1	5% (-15%)	20%
未回答	1	5% (+3%)	2%

Q5. コミュニティ活動応援ファンド事業を活用（お勧め）したいと思いますか？

項目	回答	令和5年度	令和4年度
活用（お勧め）したい	20	90%	50%
どちらでもない	1	5%	13%
活用（お勧め）したい と思わない	0	0%	4%
未回答	1	5%	33%

【アンケート意見】

- ・最も身近なファンドとして活用（お勧め）したい。
- ・ボランティア活動でぶつかる「長く続けること・お金の問題」を応援してくれる。
- ・すでに活用させてもらい、個人では乗り越えられない壁を乗り越えることができた。
- ・何かしたいと思った人へのきっかけとして伝えてみたいと思った。
- ・市民間の認知度は決して高いとは言えず、対象となりうるだろう団体に情報が届いていないように思われる。
- ・地域の課題を「我がこと」として主体的にとらえ解決に取り組んでいる市民の方が増えて欲しい。

Q4では来場者の9割が、ファンド事業のことを「知っていた」との回答があった一方、大野城市内での認知度について、課題を感じるご意見もいただいた。

必要としている団体へ事業の周知ができるよう、広報の各ツールと併せて、関係機関や関係団体などに知ってもらうことで、新規団体の申請につなげていきたい。

アンケート結果

第2部 講演会の内容について

項目	回答	令和5年度	令和4年度
非常に良かった	18	82% (+22%)	60%
良かった	3	14% (+1%)	13%
どちらでもない	0	0% (-2%)	2%
良くなかった	0	0% (±0)	0%
未回答	1	4% (-21%)	25%

【アンケート意見】

- ・自分のチームだけでは終わらせない。とても大切な考えと思った。
- ・思いや広め方等、とても学びになり参考になった。
- ・いかに事業を続ける資金を集めるかという取り組みが参考になった。
- ・竹を軸に染物や肥料づくりなどいろいろ研究されているところが勉強になった。
- ・しっかりしたビジョンを持っていろんな方に助けられ、活動を広げる推進力に感銘した。
- ・「竹」を通じて、環境・災害対策・地域のつながりに結び付くような活動をされており大変有意義な話だった。
- ・山や森がよみがえる素晴らしい活動だと思った。頑張ってもらいたい。
- ・孟宗竹でメンマが作られることを知らなかった。「美味しく食べて竹林整備」という発想が素晴らしいと感じた。
- ・活動している人たちが継続していくためのヒントになったと思う。

講演会では、「良かった」「非常に良かった」の回答が9割以上の結果となった。アンケートの意見からも、“高良山竹林環境研究所”の活動にかける熱量が来場者の方に伝わったと感じる。自分が取り組む課題とは異なる地域課題を知ることで、視野が広がり新たな視点が生まれたり、これまで交流のなかった団体と交流が生まれるきっかけにつながるため、次回も来場者に満足いただける内容を考えていきたい。

アンケート結果

◆宇宙の学校®～つなぐ、子どもの夢と未来を(スペースドリーム大野城)

項目	回答
良くわかった	6
ややわかった	7
どちらでもない	2
わからなかった	1
未回答	6



【アンケート意見】

- ・参加費は取られているのかなど知りたいこともあった。
- ・夢を語る子どもが少なくなっている。子育てをする母として応援したいと思った。
- ・大人も楽しんで参加できそうだと感じた。
- ・事業により子どもたちの意識がどう変わったかなどが分かればよかった。
- ・宇宙に興味のある子どもたちは多いと思うので、周知すればもっとたくさんの参加があると思う。
- ・是非資金調達して継続して頑張してほしい。

◆子育てで少し悩まれている保護者のサポート事業 (おやのかいMIRAI)

項目	回答
良くわかった	11
ややわかった	4
どちらでもない	0
わからなかった	0
未回答	7



【アンケート意見】

- ・正解のない子育てで不安な時にMIRAIさんの存在は大きいだろうと思った。
- ・発達障害を持っている方は周りにもいるが情報が中々わかりにくく、知り合いからの口コミは助かると話していた。もっと広がるとよいなと思う。助かる方が多いので頑張してほしい。
- ・講座のみでなく、親子の交流を図りながら他の家庭との悩み共有の場を作ってくださっている。いい出会いといい経験をされている活動を今後も続けて欲しい。
- ・こういう活動があることで精神的に安らぐ人が増えるよう長く続けて欲しい。
- ・活動内容のお話を聞いて関心が深まり、大野城市の課題の現状をもっと詳しく知りたいという気持ちになった。

アンケート結果

◆安全なまち大野城（NPO法人route）

項目	回答
良くわかった	13
ややわかった	3
どちらでもない	0
わからなかった	0
未回答	6



【アンケート意見】

- ・ご自身の経験から活動実施に至ったということで活動に対するパワーを感じた。
- ・子を持つ親として見守り活動をしていただいている皆様にはとても感謝している。
- ・キャラクターを活用してrouteさんしかできない啓発見守り活動でスゴイと思う。
- ・いろいろな見守り活動者とつながって活動が広がるよう応援したい。
- ・「パトローラ」のキャラクターが分かりやすく、浸透しやすい。
- ・いのちを守る活動なので取り組みを広げて行ってほしい。

◆主婦友・ママ友サポート&子育て応援事業（スマイルフレンズ）

項目	回答
良くわかった	16
ややわかった	1
どちらでもない	0
わからなかった	0
未回答	5



【アンケート意見】

- ・説明が簡潔で分かりやすかった、課題と活動内容がコンパクトにまとめてあった。
- ・テーマが面白くコラボ企画で何をするか楽しみ。
- ・（同じ子育てママとして）交友を広げる場があまりないので、こうした輪が広がってほしいなと思った。
- ・毎回同じメンバーになりそうなところを、テーマを変えて集めるというのは良いアイデアだと思った。
- ・大切な活動だと思う。子育ての孤立化をなくすための素晴らしい活動と感じる。
- ・転入転出の多い大野城市は同様の悩みを持っているママはたくさんいると思う。リフレッシュの場は必要と思う。ニーズに応えられるよう頑張してほしい。

アンケート結果

◆傾聴活動（大野城傾聴ボランティア「ダンボ」

項目	回答
良くわかった	11
ややわかった	5
どちらでもない	0
わからなかった	0
未回答	6



【アンケート意見】

- ・研修などで学びを深めていらっしゃるのがとても素敵だった。
- ・孤立しやすい高齢者を取り残さない（孤立感を感じることなく生活できる）大事な活動だと思った。
- ・しっかりしたビジョンを持って、いろいろな人に助けられ、そして活動を広げる推進力に感銘した。
- ・活動内容にとっても関心がある。どのような人が「傾聴」を必要としているかなど、活動の意義について深く知りたいと思った。

総括

昨年度のまどかびあ小ホールから、今年度は南コミュニティセンター多目的室に会場を変更し、令和5年度に助成を受けて事業を行った5事業の報告を実施した。今年度は第1部で使用したファンド事業の説明動画をより分かりやすい内容に改善したほか、初の試みとして、過去に助成を受けた事業一覧を会場ロビーに設置し来館者に見ていただくことで、ファンド事業の実績を知る機会を設けた。

当日は雨模様だったこともあり昨年度より参加者は減少したが、報告会では各団体の一年間の事業報告や今後の展望について熱心に耳を傾けている様子が見られた。また、休憩時間や閉会後には団体同士や団体と参加者が情報交換をする様子が見られ、報告会が報告の場にとどまらず団体交流の場にもなっていた。

第2部の講演会では久留米市の「高良山竹林環境研究所」より渡辺琢磨氏をお迎えし、高良山の現状や地域活動の輪がどのように広がっていったのか、また不要な竹を活かしたメンマ作りについても詳しくお話しいただいた。報告会后にはメンマの販売を行い、活動の成果を周知する機会となった。

アンケート結果では、“報告会の全体的な内容について”「良かった」が82%と昨年度の73%を上回った。また、“ファンド事業を活用（お勧め）したいと思うか”との問いには90%が「活用（お勧め）したい」と回答し、昨年度の50%を大きく上回る結果となり、ファンド事業について市民の関心が高まってきていると感じている。

“報告会をどのようにして知ったか”との問いには「HP・SNS」との回答が昨年度は4%であったのに対し今年度は41%と大幅に増加しており、市民が情報を得るための手段が多様化してきていることがうかがえるため、今後の周知活動を行う上での参考としたい。

全体として非常にスムーズに終えることができたが、課題としては来場者数が減少したことが挙げられる。天候に恵まれなかったことも要因の一つと考えられるが、より多くの方に参加していただけるよう、来年度の実施に向けて内容や周知方法を改善していきたい。また、団体の報告について「もう少し詳しく知りたい」「資料をもっと見やすくしてほしい」との声があったことを踏まえ、来年度以降はより団体の活動が伝わる報告会を目指していきたい。

南パートナーシップ活動支援センター

〒816-0964

大野城市南ヶ丘5丁目9番1号

T E L (092) 596-0686

F A X (092) 596-0348

E-mail minamips6232@gmail.com

中央パートナーシップ活動支援センター

〒816-0942

大野城市中央1丁目5番1号

T E L (092) 573-3127

F A X (092) 587-6277

E-mail chuou3127@gmail.com

東パートナーシップ活動支援センター

〒816-0904

大野城市大池2丁目2番1号

T E L (092) 504-1428

F A X (092) 504-1595

E-mail higaships504@gmail.com

北パートナーシップ活動支援センター

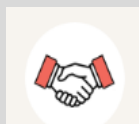
〒816-0912

大野城市御笠川1丁目17番1号

T E L (092) 513-0099

F A X (092) 504-5102

E-mail kitaps3150099@gmail.com

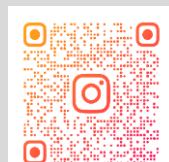


パートナーシップ
活動支援センター

HOME PAGE



INSTAGRAM



LINE



FACEBOOK

